

各位

上場会社名 ステラ・グループ(株)
 代表者 代表取締役社長 津田 由行
 (コード番号 8206)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 松本 豊一
 (TEL 06-6245-4415)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、22年4月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,470	75	53	1	0.00
今回発表予想(B)	5,456	23	19	△80	△0.34
増減額(B-A)	△14	△52	△34	△81	
増減率(%)	△0.3	△69.3	△64.2	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	6,218	△190	△217	△314	△1.31

平成23年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,230	150	101	19	0.08
今回発表予想(B)	10,556	123	100	△39	△0.17
増減額(B-A)	△674	△27	△1	△58	
増減率(%)	△6.0	△18.0	△1.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	12,891	△435	△471	△767	△3.20

修正の理由

第2四半期累計期間および通期の連結業績予想の修正について

連結業績予想修正の主な要因については、PC販売事業を行っている株式会社オーエー・システム・プラザ(証券コード7491 JASDAQ、以下「OA社」という。)において、当第2四半期連結累計期間については新OS「Windows7」、新CPU、3D機能等が搭載された高性能パソコンが発売されたことから、パソコンの単価、金額いずれも前回予想を上回りました。しかしながらミニノートパソコンの需要が一巡したことによりパソコンの販売台数は前回予想を下回ることとなり、本年3月のエコポイント制度の変更による薄型テレビの需要が引き続きあった事などから、パソコンの販売は影響を受け、売上・利益共予想には及びませんでした。通期においてもパソコンの販売は伸び悩むことが予想されます。損益面におきましても、平成22年9月30日付「特別損失(連結)の計上および当社連結子会社 株式会社オーエー・システム・プラザの「特別損失の発生並びに平成23年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」について」でお知らせしておりますように、当社において減損損失(当社におけるOA社の自己株式を考慮した持分比率は46.68%であることから、損益に与える影響は少数株主損失を控除した金額5百万円(PC販売事業)と金額21百万円(不動産事業。))及び新株予約権評価損(当社におけるOA社の自己株式を考慮した持分比率は46.68%であることから、損益に与える影響は少数株主損失を控除した金額13百万円。)の計上を余儀なくされたことも修正要因であります。

次に、不動産事業を行っている株式会社プロジェ・ホールディングス(証券コード3114 名証・大証第二部、以下「プロジェ」という。)において、当第2四半期連結累計期間については「完成物件の買取り、再販事業」がほぼ予想通りに推移したことに加え、平成19年1月に株式会社グローバルコーポレーション(現在特別清算手続中)にて取得していた土地(福岡県福岡市)も、7月に売却いたしました。通期においては「分譲マンション開発事業(神奈川県平塚市)」は2月の引渡し開始に向けて計画通り進行中であり、「宅地分譲事業(神奈川県横浜市)」も追加工事の発生により工期は延びているものの、1月には引渡しの開始の予定であります。

しかしながら、繊維事業を行っております株式会社ドーコーボウにおいて、当第2四半期連結累計期間については特殊糸や混紡糸での開発素材は順調に推移しましたが、主力であるインド糸は原綿価額の高騰による仕入価格の上昇やシーズ的な要因もあり、荷動きは低調で、前回予想に比べ減収となりました。アパレル部門は2シーズン目を迎えて軌道に乗ってきたこともあり、順調に売上を伸ばしておりましたが、8月末に取引先が自己破産を申請し、当社においても特別損失(当社におけるプロジェの自己株式を考慮した持分比率は56.88%であることから、損益に与える影響は少数株主損失を控除した金額48百万円。)を計上するに至りました。(詳細はプロジェの平成22年9月6日付「子会社における債権の取立不能または取立遅延のおそれ、および特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照下さい。)

上記によって、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来に関する前提・見通し・計

画に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく変化する可能性がありますので、これら業績等の予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。

以 上